

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-139866 (P2003-139866A)  
 【公開日】平成 15 年 5 月 14 日 (2003.5.14)  
 【出願番号】特願 2002-213326 (P2002-213326)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 V 3/12

G 0 1 V 15/00

G 0 6 K 17/00

【F I】

G 0 1 V 3/12 A

G 0 6 K 17/00 F

G 0 1 V 3/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 25 日 (2005.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一組の物体のうちの物体を識別する方法であって、  
 対象領域 302 に向かって信号を送信し、  
 該対象領域 302 からの反射エネルギー 304 を受信し、  
 該受信した反射エネルギー 304 に関する基準電界強度 401 を確立し、  
 前記電界強度が前記受信した反射エネルギーに関する前記基準電界強度と大幅に異なる  
 少なくとも 1 つの周波数 403 を決定し、  
 該決定した少なくとも 1 つの周波数に基づいて前記対象領域 302 内の少なくとも 1 つの  
 物体を識別する、  
 という各ステップを含む方法。

【請求項 2】

少なくとも 1 つの対象領域 302 と、  
該少なくとも 1 つの対象領域 302 に対して適宜配置された物体検出装置 201, 202, 301 と、  
該物体検出装置により検出するための一組の物体と、  
前記物体検出装置により前記一組の物体のうちの各物体 100 を一意に識別するために該  
一組の物体のうちの各物体 100 毎に配設された少なくとも 1 つのアンテナ 151 と  
を含む物体存在検出システム。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つのアンテナ 151 の各々が、互いに異なる所定の周波数で共振する、  
請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つのアンテナ 151 の各々が、互いに異なる長さを有している、請求項  
2 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記物体検出装置によりアクセス可能であり、前記一組の物体の各々を一意の所定の共  
振周波数に関連付けする、データテーブル 601 を更に含む、請求項 2 に記載のシステム。

## 【請求項 6】

前記物体検出装置が、少なくとも 1 つの送信器 201 を含む、請求項 2 に記載のシステム

。

## 【請求項 7】

前記少なくとも 1 つの送信器 201 が、無線周波数送信器である、請求項 6 に記載のシステム。

## 【請求項 8】

対象領域 302 内の物体に向かって R F (無線周波数) エネルギーを送る手段 201 と、

前記対象領域 302 内の前記物体からの R F エネルギーを受容する手段 202 と、

前記対象領域 302 内の物体の個体数を表すために少なくとも 1 つの共振周波数を生成する手段と、

前記受容した R F エネルギーを前記生成された少なくとも 1 つの共振周波数で変化させる手段 151 と、

前記変化させた受信した R F エネルギー 304 を分析する手段 301 とを含む、物体の存在を検出するシステム。

## 【請求項 9】

前記受信し変化させ分析した R F エネルギー 304 に基づいて前記物体の個体数を識別する手段を更に含む、請求項 8 に記載のシステム。

## 【請求項 10】

前記少なくとも 1 つの共振周波数を生成する前記手段が、

前記物体の各々毎に配設された少なくとも 1 つのアンテナ 151 であって互いに異なる寸法を有するアンテナ 151 を含む、請求項 8 に記載のシステム。